寺沢武一

非売品

大地よ 蒼くなれ

ムギュー

ガサ
じっちゃん
あいつは
だれや？
初めて
見るやつやで

ウイラだ
半年くらい前に
ふらっと
この森へ
現れよった
この辺は
食料も豊富だで
住みついたの
じゃろう
ガシャ
言葉は
しゃべられ
へんのか？
ああ……
分からん
らしい

なんや
アホな
やっちゃな

これ！ペペ
言葉が
しゃべれん
からといって
バカにはするもんじゃ
ないぞ

ぷっ

ギョッ！
こっちを
見よった

じっちゃん
あいつ
わいらの後
ついて
来よるで
まあ
いいじゃ
ないか

クワッ　クワッ

よせ
そいつは
喰えん
キノコだ
喰うと
笑い死に
するぞっ

けったいな
やっちゃな……

うひゃっ
こいつ
生きて
おるでっ

ウーウー
心配はいらん
ペペ
こいつはわしらに
害はあたえん

こいつはな
ただ……
こうして一日中
ゆっくりと
回りつづけとる
だけじゃよ
へえ…でも
何のために!?

そいつは
分からん…
こいつは
話を
せんからな

いつ頃から
ここに
いるんだろう…

さあな
いつ頃
からかな……
わしにも
分からんよ

なんだ……
あの音は⁉
あっちの方から聞こえよったでじっちゃん!!

よし
行ってみよう

あぶなかったなもう少しでこいつに殺されるところだった!
驚いたわ急に飛び出して来るんですもの

でも気味が悪い生物ね……
ああこいつの血管にもオレたちと同じ人間の血が流れていると思うとはき気がするよ！

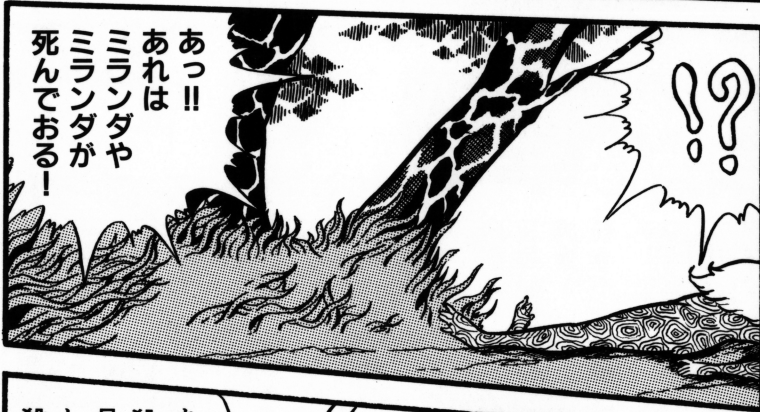
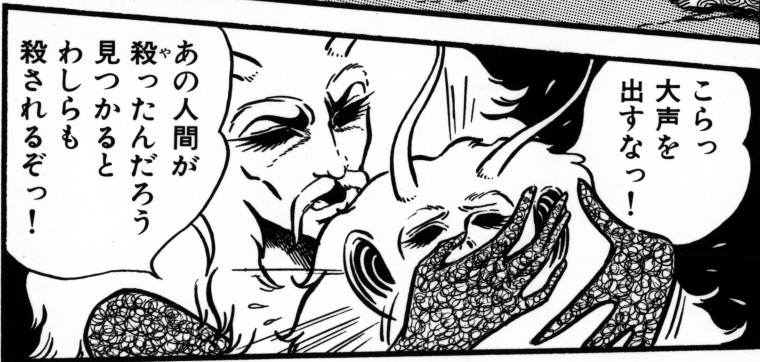
それにしても地表はいつ来てもゾッとしない…
地表の放射能量の調査という仕事がなければ
こんな所は来たくもないんだが…
サコン……

やはりだめだったわね…

……

ああ…地表の放射能量は少しも減っていないそれどころかしだいに増えつつある…
いよいよわたしたち…ここから去らなければならないのね

じっちゃん
あいつら
何やねん!?
今日は
色々と
変わったやつに
会ったけど
あの二ひきが
いちばん
変わっとるわ
あれか…
あれは
人間じゃよ

もっとも…
わしらの祖先も
あの者たちと
同じく
人間だったの
じゃがな
あいつらは
地下に住んで
おるのじゃが…
時々地上へ
ひょっこと
現れよる

!?
あっ!!
あれは
ミランダや
ミランダが
死んでおる!

こらっ
大声を
出すなっ!
あの人間が
殺ったんだろう
見つかると
わしらも
殺されるぞっ!

なぜや
なぜあいつら
ミランダを…
ミランダとわいは
友達なんや
ミランダは
木の実しか食べへん
やさしいやつ
やったのに

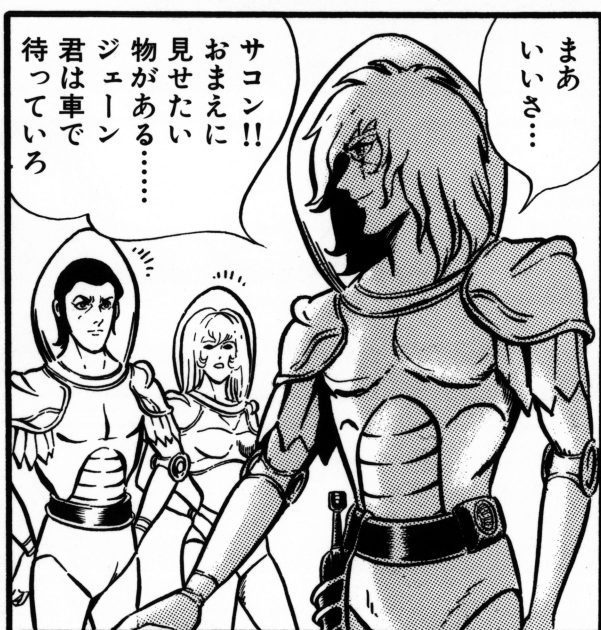
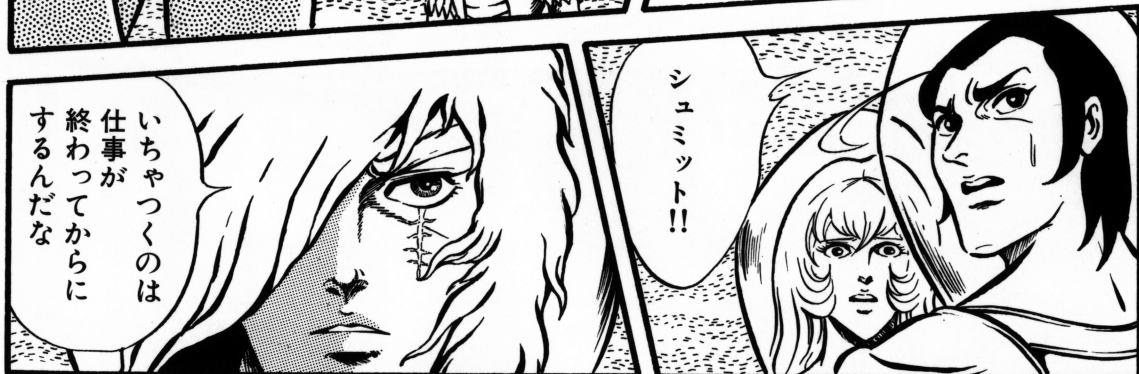
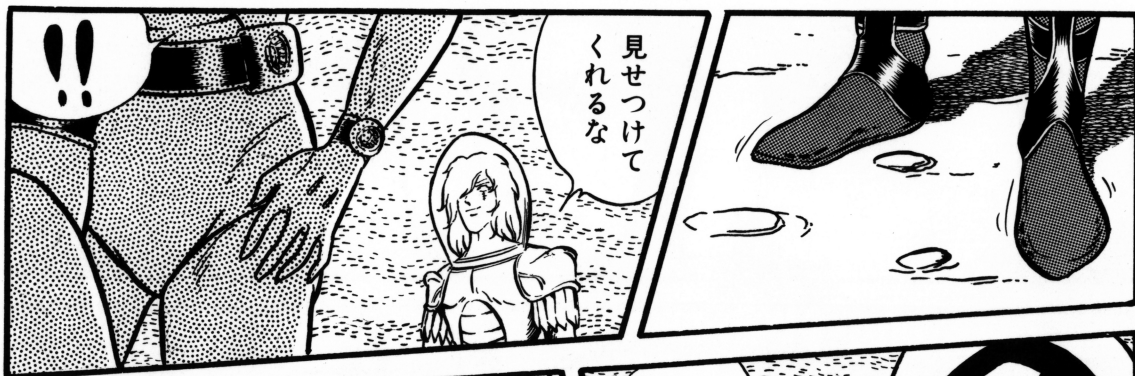
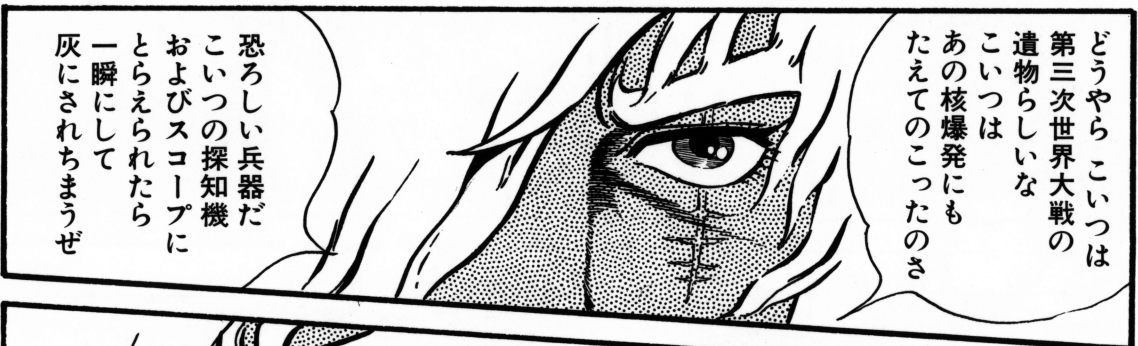
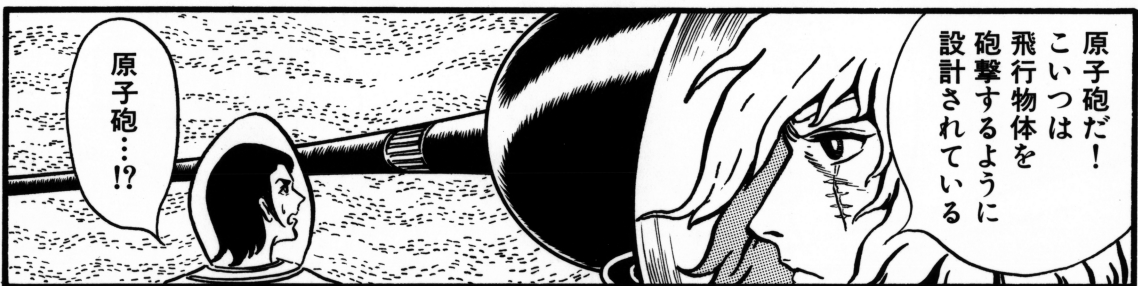
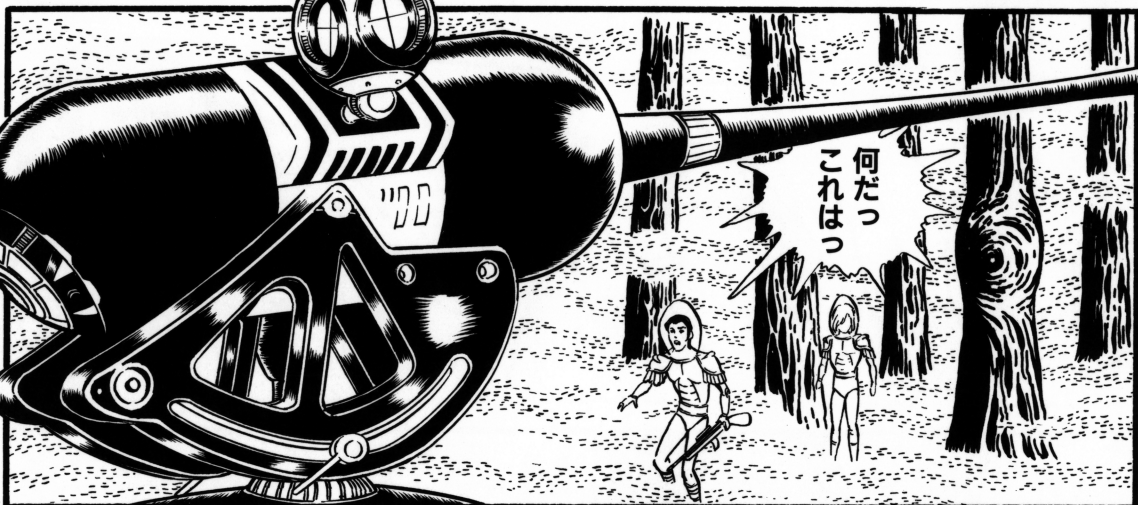
!!
見せつけてくれるな

シュミット!!
いちゃつくのは仕事が終わってからにするんだな

おおっ

何だっ
これはっ

原子砲だ！こいつは飛行物体を砲撃するように設計されている
原子砲…!?

どうやら こいつは第三次世界大戦の遺物らしいな こいつはあの核爆発にもたえてのこったのさ
恐ろしい兵器だ こいつの探知機およびスコープにとらえられたら一瞬にして灰にされちまうぜ
こいつは生まれて以来その半永久的な原子力エネルギーで…ずっと敵を待ちつづけてきたというわけだ

おまえは エンジニア だったな 解体できるか?

ああ 20分も あればな…

!?

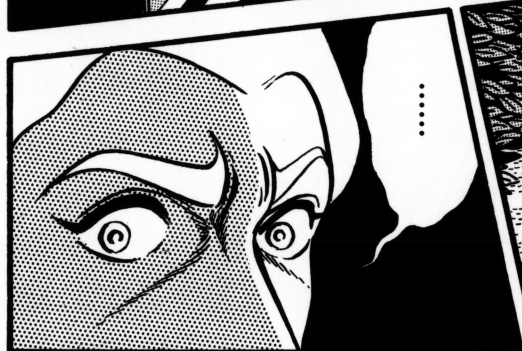
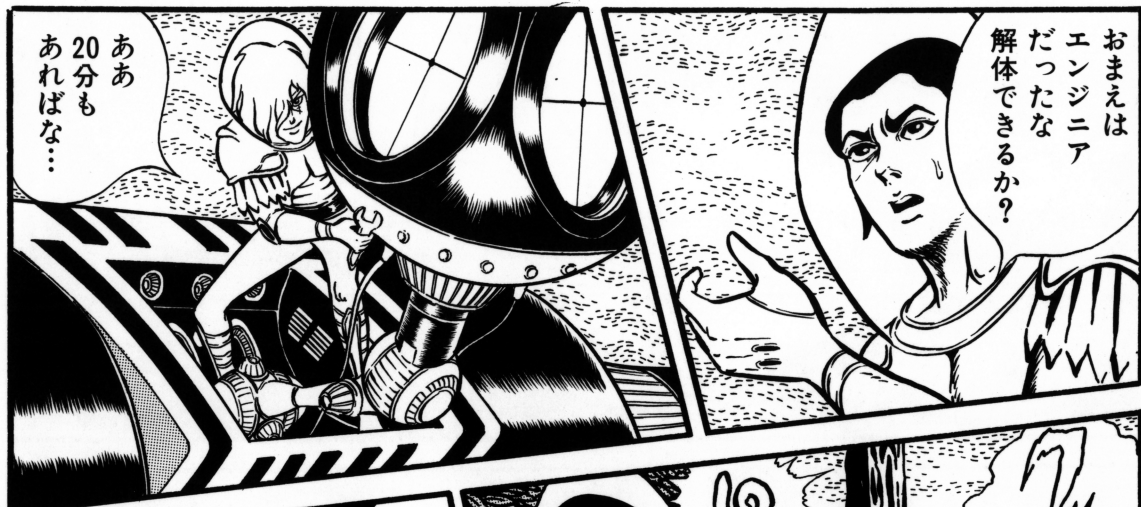
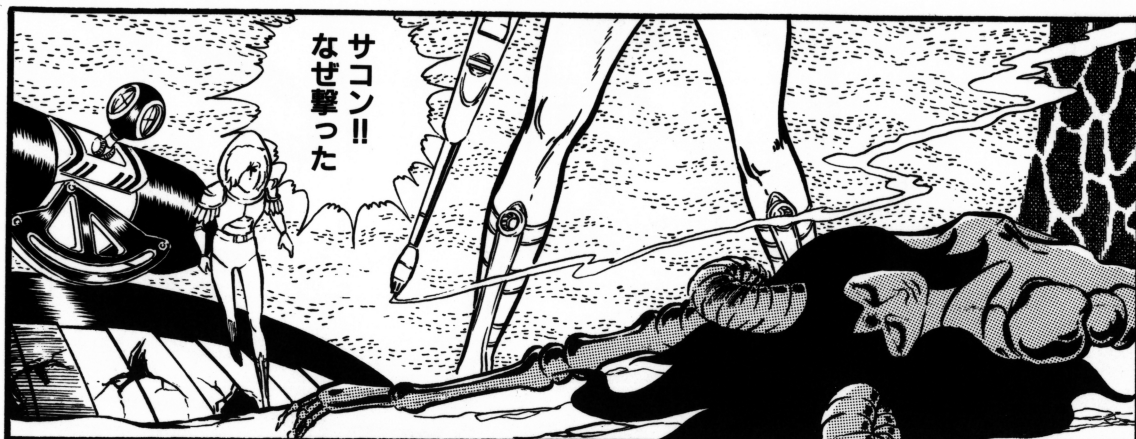
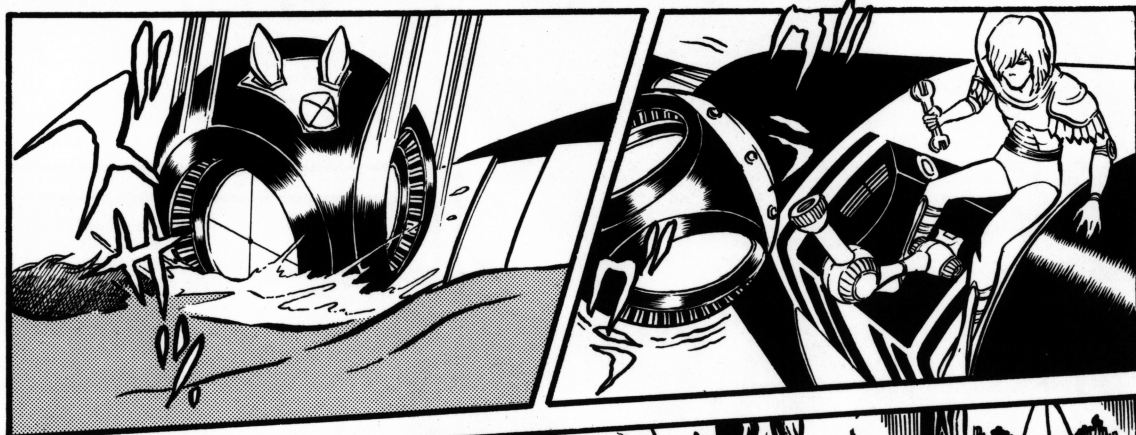
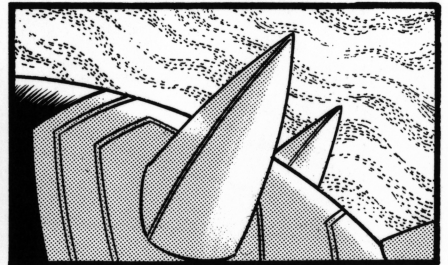
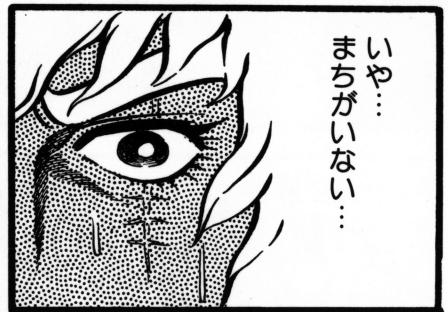
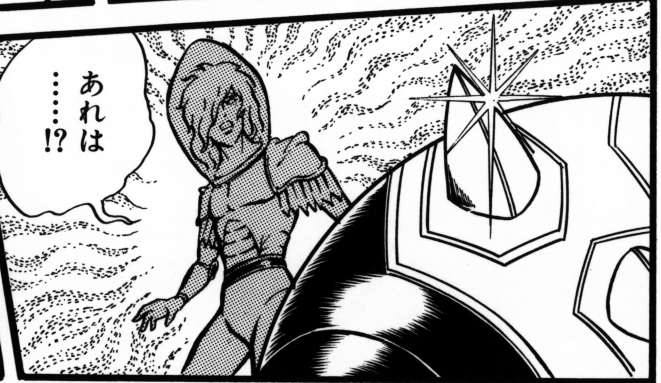
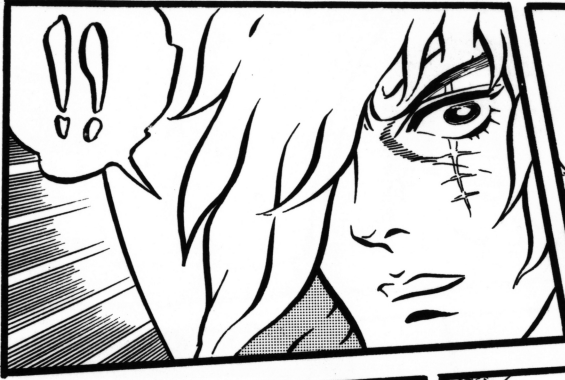
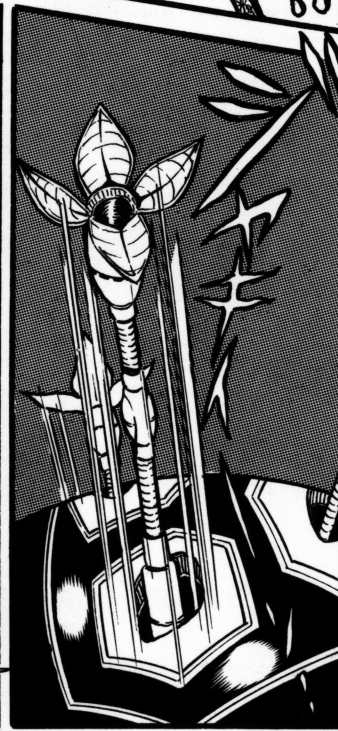
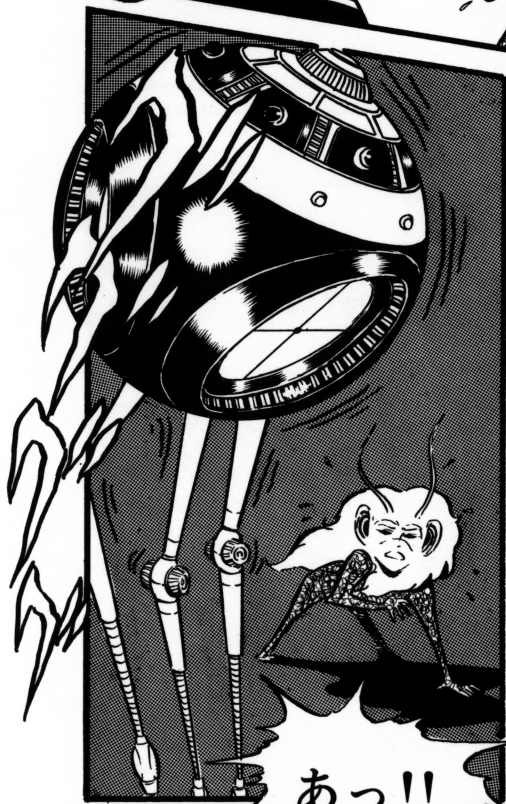
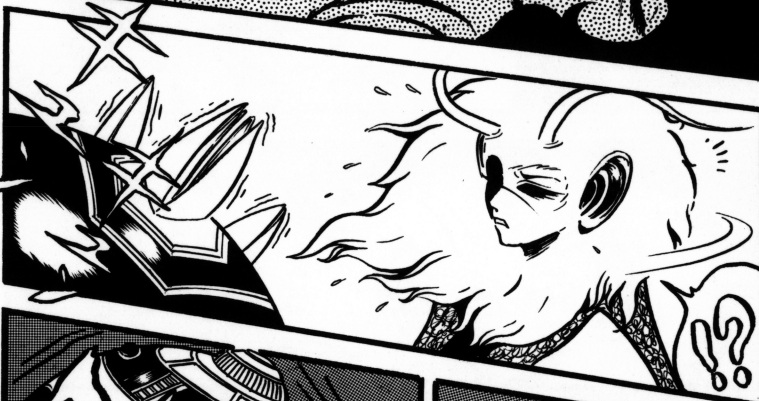
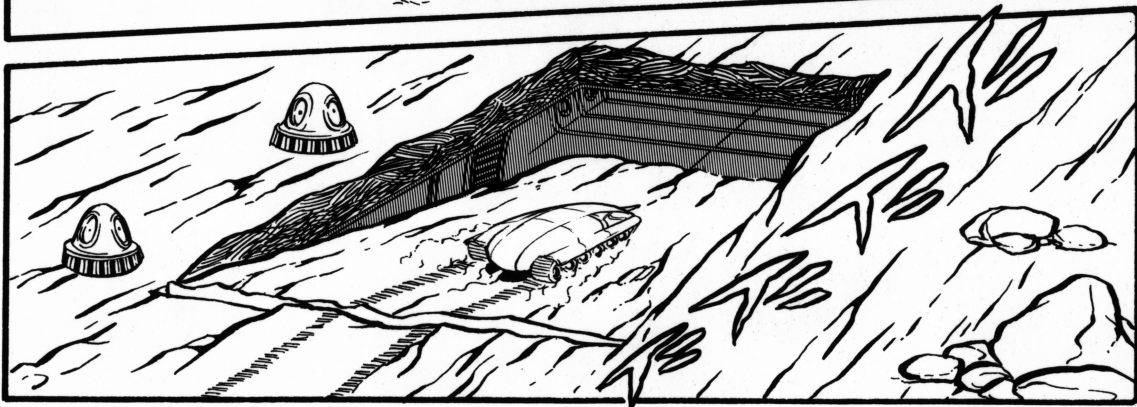
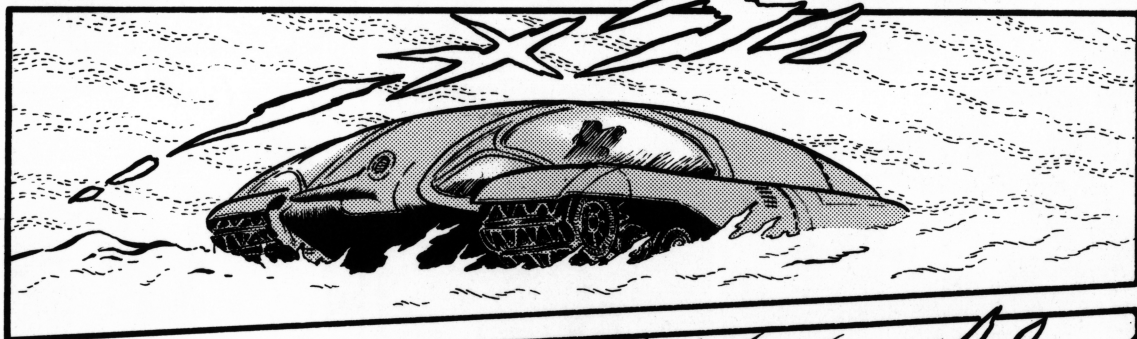
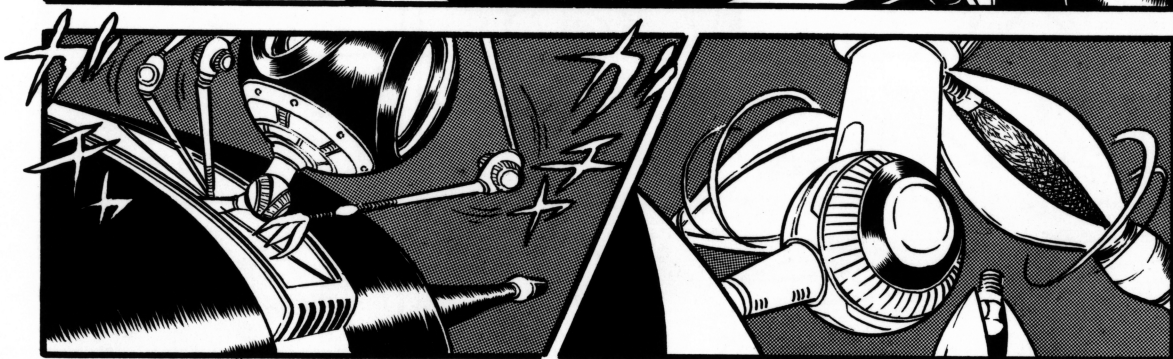
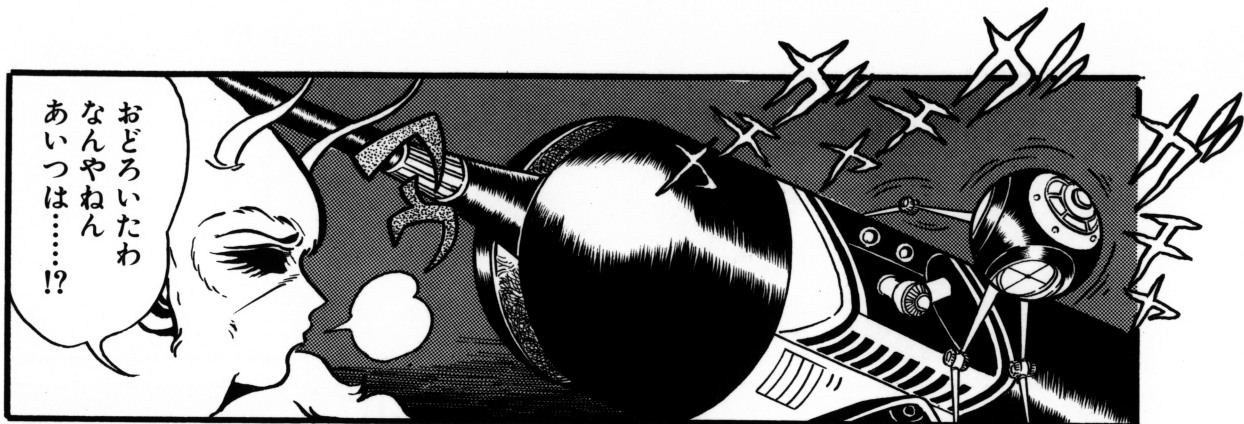
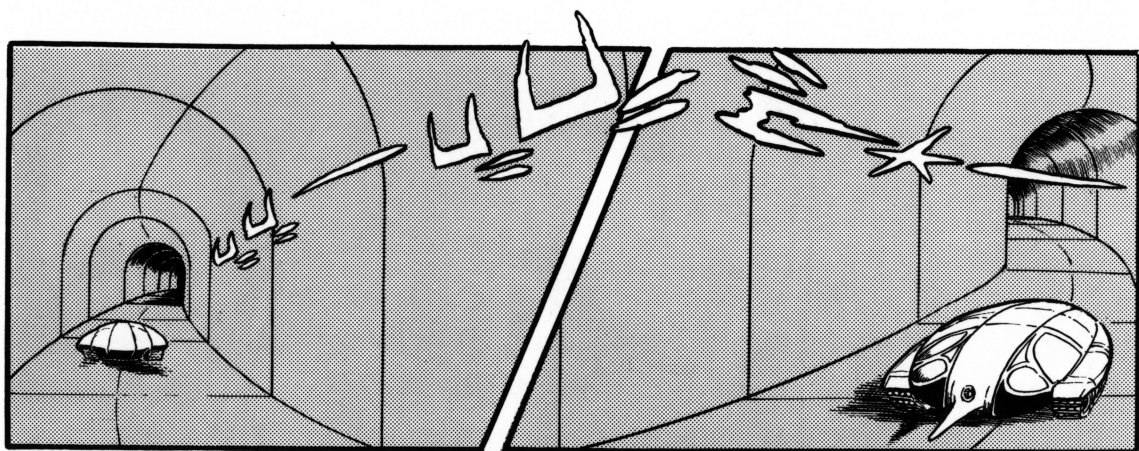
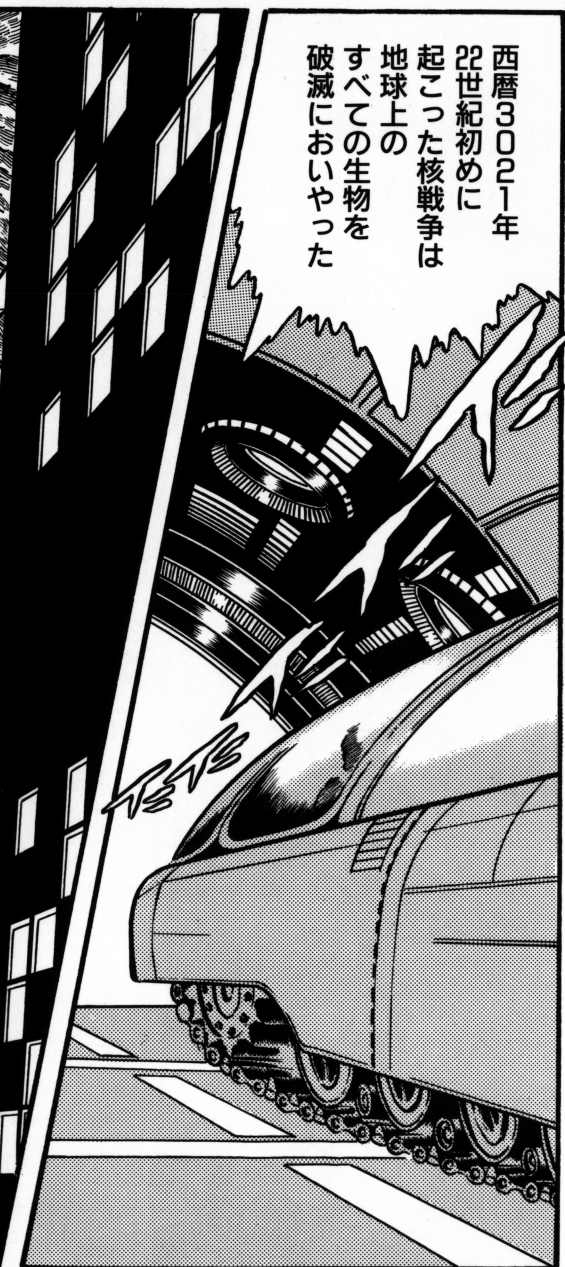
……

オレたちはこの気密服から一歩でも出れば二、三分であの世行きだというのに……
こいつらはゆうゆうと地上を歩きまわっている!! まるで…この地球が自分たちのものであるかのようにな!

こいつらはオレたちの地球を奪ったのだ
では…その地球を破壊したのは誰だったのだ
それも人間じゃないかわれわれ人間がやったんだ!!
こいつは原子砲のいわば目さこれがなければこの砲はただのガラクタも同然だ

よし
シティへ
帰るぞ
!!
あれは
……!?
まさか…
いや…
まちがいない…
……

じっちゃん
あいつら
行きよったで！
パッ
かわいそうに…
!?
あっ!!

おどろいたわ
なんやねん
あいつは……!?
ひえーっ
あいつ
自分で
自分の体を
なおしよるでっ

西暦3021年
22世紀初めに
起こった核戦争は
地球上の
すべての生物を
破滅においやった

わずかに
生きのびた人類は
地下深く
都市を築き
その恐るべき
放射能を避け
ほそぼそと
文明を保っていた

そうか
やはりだめか…
はい
この数世紀というもの
放射能量はいっこうに
減る気配を
見せません
長官
われわれの
地下都市の
放射能防御壁も…
すでに
放射能に
蝕まれてきました
もう限界ですな
しかし…
なぜだ…なぜ
放射能は
減少しようと
しないのだ
われわれは
数世紀の間…
ふたたび
地上に出る日を
ただそれだけを
待ちつづけてきたと
いうのに
わたしたちは
地球を汚した…
そのむくいを
受けたのさ!!
カチッ
むくい!?

そうだ むくいを受けたのだ あのいまわしい核戦争の…… 生きとし生けるものすべてを破滅においやり
われわれの祖先は放射能の嵐を避けネズミの様にこの地下へ逃げて来た…
しかし… 地上にもわずかに生き残った者たちもいたのだ 植物・動物・そして人間が……
彼らは数世紀にわたる放射能の影響で突然変異を来し驚くべき変容を遂げていた
そしてわれわれがふたたび見た地上には… まったく異質な別な世界が出来上がっていた
動植物は放射能大気を呼吸し放射能水を生命の糧とする
彼らにとって放射能はもはや無害なもの いや…今や地球の自然界の基盤とさえなっているのだ

調査の結果
もはや地表の
放射能は
消える望みが
ないと判明
しました

くわえて
わが地下都市の
放射能防御壁も
もはや
その浸入を
くい止めることが
出来ません

よって
R計画は
実行されます

われわれは
この地球を去り
ケンタウルス座
α星へ植民
することに
決定しました

なお
出発の日時など
計画の子細に
ついては…

いよいよね…
サコン

わたしたち
この地球を
すてるのね…
さびしいわ
さびしい?
ぼくはかえって
せいせいするね
新しい星で
新しい生活を
するんだ!!
こんな
くさった
地球などに
未練はないさ!

サコン……
わたしを
愛している?

もちろんさ
ジェーン
愛してるとも

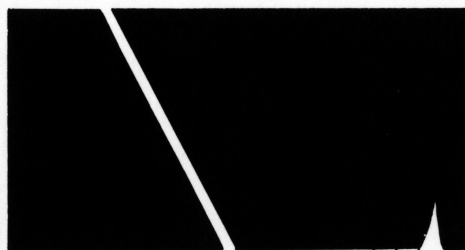
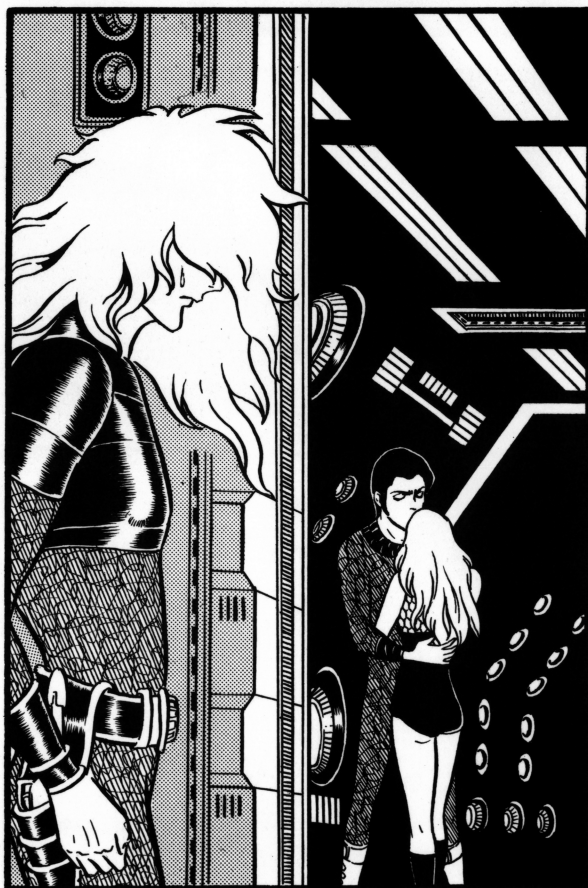
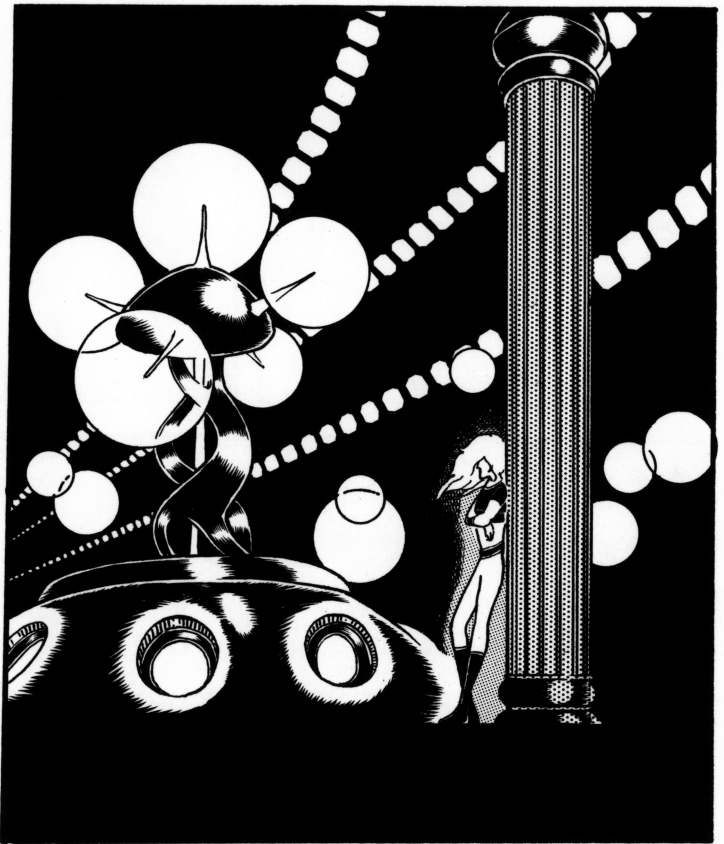
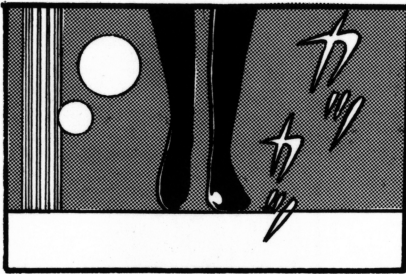
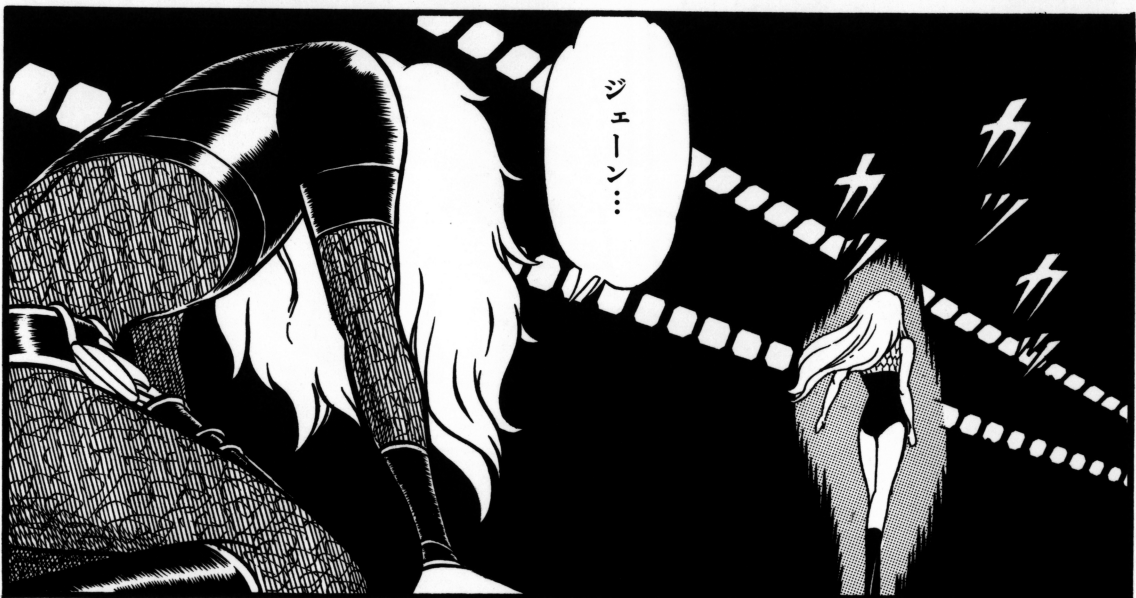
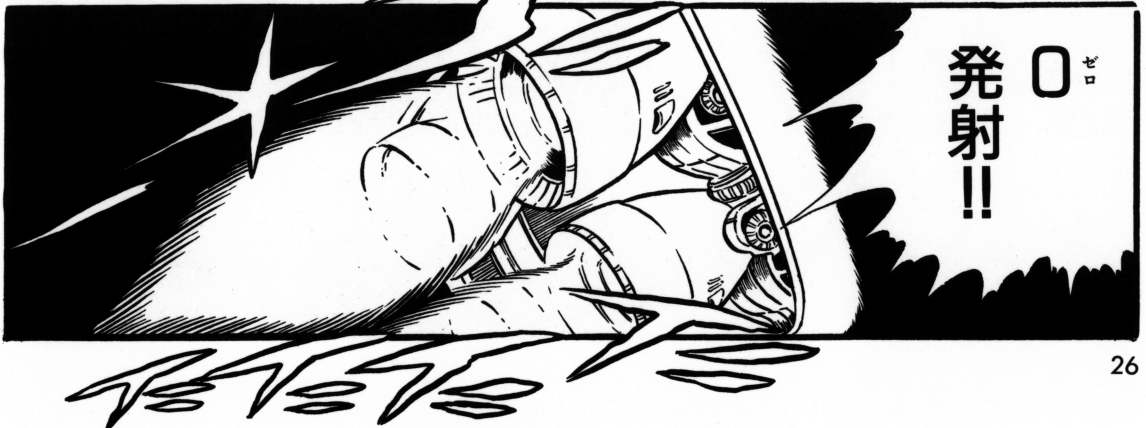
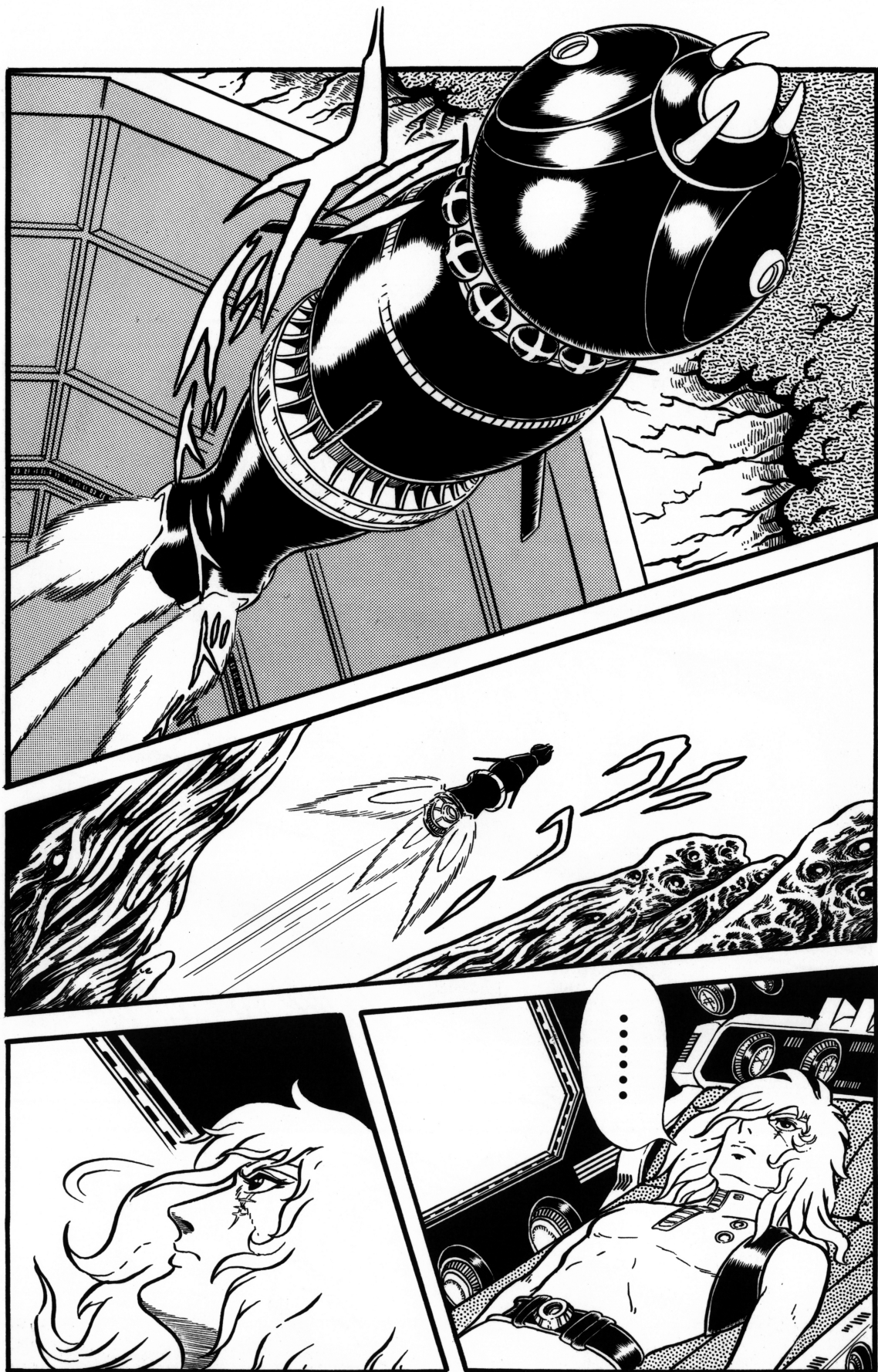
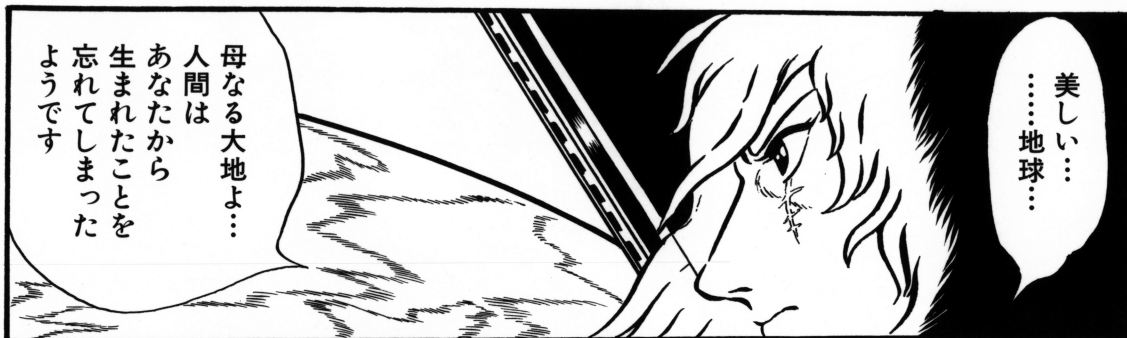
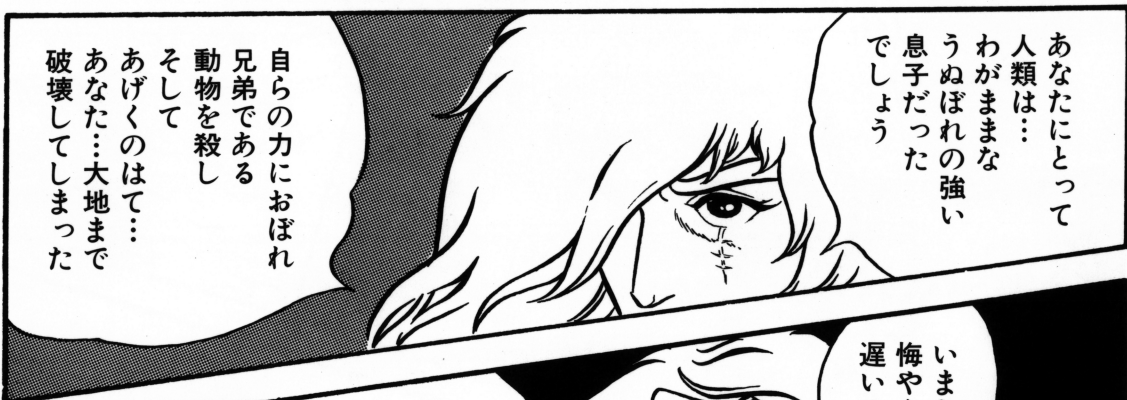
カッ
カッ
カッ
シュミット
どうしたの?
こんな所へ
呼び出して…
ジェーン
君は サコンを
愛しているのか?
なぜ
そんなことを!?
君は
サコンが
どんな男か
分かっていない!!

サコンは
自分のことしか
考えない男だ
あいつを
好きになっても
君がきずつく
だけだ
あなたには
関係ないわ
はなして
ジェーン…
君を愛している

うっ…

わたしが
愛しているのは
サコンだけよ…

……

カッ
カッ
カッ
ジェーン…

発射準備完了!!
これより
秒読みに入ります
ブースター
始動!!
発射10秒前
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0発射!!

あなたにとって
人類は…
わがままな
うぬぼれの強い
息子だった
でしょう

自らの力におぼれ
兄弟である
動物を殺し
そして
あげくのはて…
あなた…大地まで
破壊してしまった

いまさら
悔やんでも
遅いのですね

しかし
あなたの上には
これから
生きようとする
新しい生命が
あります

みまもって
いてやって下さい
彼ら
新人類たちを!!

なぜかな…
なぜオレは
壊さなかった
のかな……

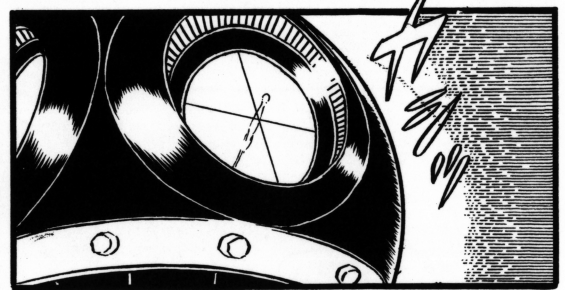
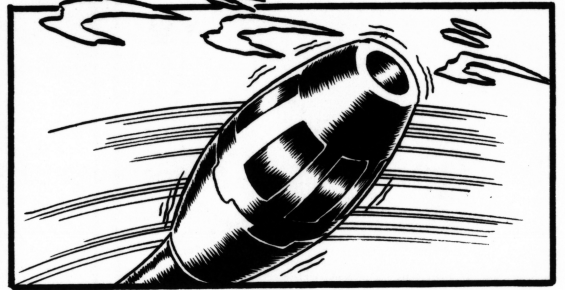
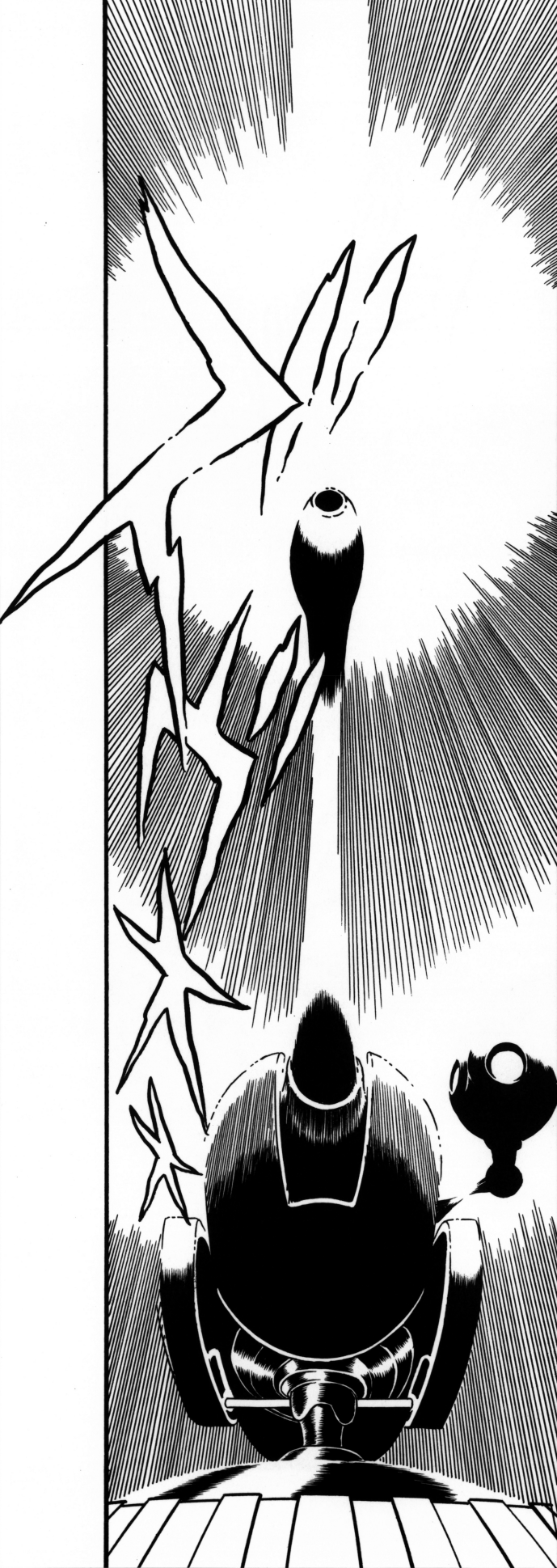
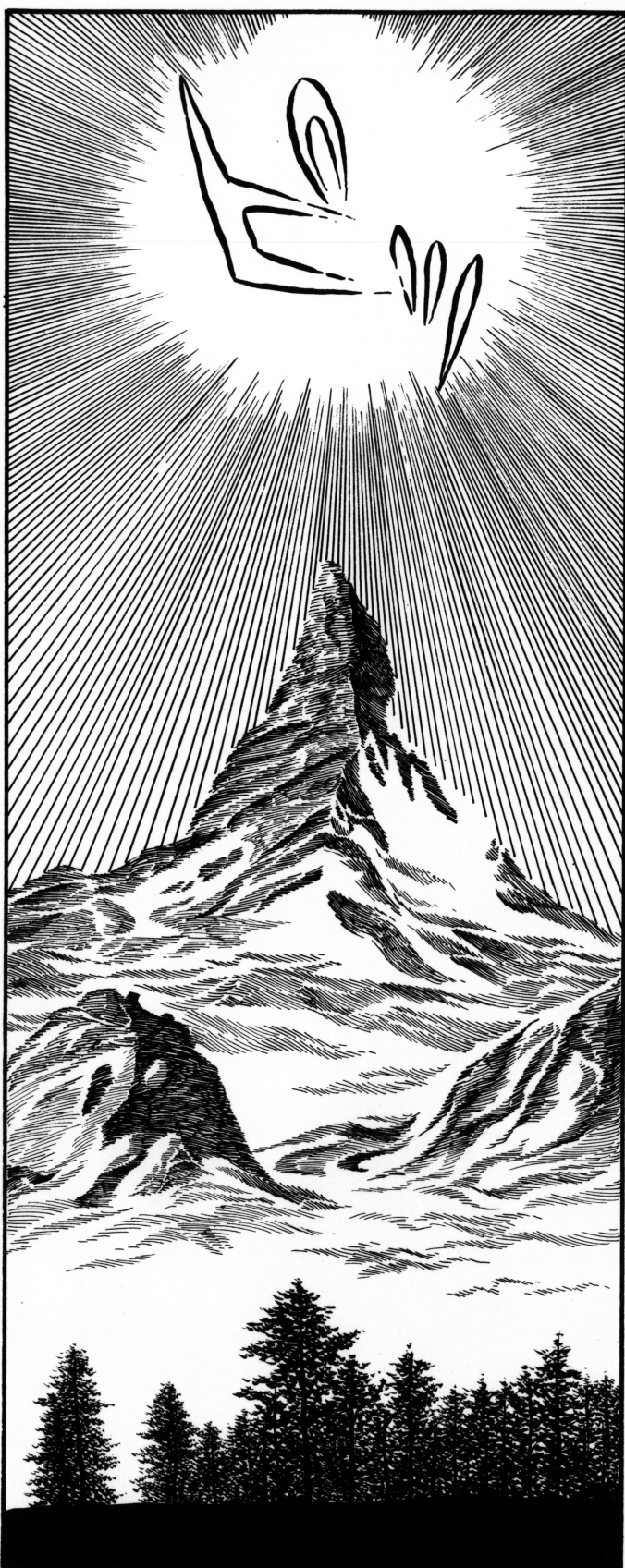
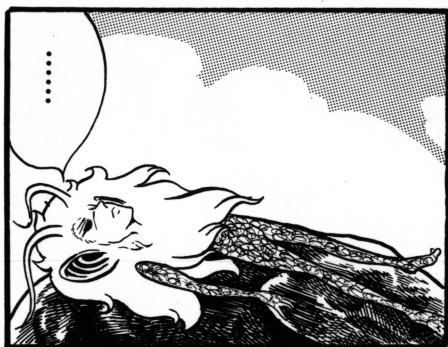
フフフ…
知って
いたんだな
人間は大地を
去れないことを
母と子のように…

だが
望もう
大地よ蒼(あお)くなれ!!

……

空が…
光って…

いったい
何だったの
かな…

ペペ！
行くぞ
この森には
もうキノコが
なくなった

—END—

平成18年7月31日発行

著者　寺沢武一
発行　メディアファクトリー
印刷・製本　大日本印刷

お問い合わせ
コミックフラッパー編集部　Tel.03-5469-4760

MFコミックス

COBRA読者プレゼント